



平成26年 2 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年 7 月12日

上 場 会 社 名 株式会社ありがとうサービス 上場取引所 大
 コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>
 代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井本 雅之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 平川 俊之 (TEL) (0898) 23-2243
 四半期報告書提出予定日 平成25年 7 月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年 2 月期第 1 四半期の業績（平成25年 3 月 1 日～平成25年 5 月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年 2 月期第 1 四半期	1,830	—	102	—	98	—	51	—
25年 2 月期第 1 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年 2 月期第 1 四半期	54.37	—
25年 2 月期第 1 四半期	—	—

(注) 1. 平成25年 2 月期第 1 四半期累計期間においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年 2 月期第 1 四半期の数値および平成26年 2 月期第 1 四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年 2 月期第 1 四半期	3,843	1,168	30.4
25年 2 月期	3,500	1,182	33.8

(参考) 自己資本 26年 2 月期第 1 四半期 1,168百万円 25年 2 月期 1,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年 2 月期	—	0.00	—	70.00	70.00
26年 2 月期	—	—	—	—	—
26年 2 月期(予想)	—	0.00	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 2 月期の業績予想（平成25年 3 月 1 日～平成26年 2 月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	3,683	5.9	203	△3.1	186	△10.2	93	△3.5	97.79
通期	7,508	5.9	491	11.0	460	9.0	243	45.0	255.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年2月期1Q	953,600 株	25年2月期	953,600 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

26年2月期1Q	120 株	25年2月期	69 株
----------	-------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年2月期1Q	953,513 株	25年2月期1Q	835,600 株
----------	-----------	----------	-----------

(注) 当社は、平成24年5月28日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策に対する期待感から、円安・株高基調に推移しているものの、実体経済の回復基調への足取りは明確ではなく、欧州における債務問題等にはなお引き続き懸念材料も多く、先行きは不透明であります。

こうした状況のもとで、当社におきましては、人材の育成と既存店のさらなる強化、さらには内部体制の充実に努めてまいりました。

当第1四半期累計期間は、4月にホビーオフ東大洲店(愛媛県)を新規出店しました。この結果、当社の店舗数は、リユース事業74店舗、フードサービス事業32店舗、合計106店舗となりました。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,830,179千円、営業利益102,890千円、経常利益98,205千円、四半期純利益51,840千円となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

(リユース事業)

当第1四半期累計期間におきましては、積極的な買取りと査定精緻化を進め、良品在庫の増大に努めてまいりました。また、売場への継続的な商品供給を行い機会損失を減らすとともに、お客様目線の売場づくりを進め、売上高の増加に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,263,382千円、セグメント利益(営業利益)134,770千円となりました。

(フードサービス事業)

当第1四半期累計期間におきましては、フランチャイジー事業においては本部主導の販売促進活動を、オリジナルブランド事業においては新商品の投入を積極的に行う等、来店客数増加に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高566,797千円、セグメント利益(営業利益)33,786千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて285,263千円増加し、1,899,712千円となりました。現金及び預金が166,465千円増加、商品が112,468千円増加したことが主な要因であります。

固定資産は、前事業年度末に比べて56,143千円増加し、1,936,903千円となりました。有形固定資産が48,705千円増加したことが主な要因であります。

繰延資産は、前事業年度末に比べて1,486千円増加し、7,266千円となりました。特に大きな変動はありません。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて342,893千円増加し、3,843,882千円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて53,263千円増加し、943,605千円となりました。1年内返済予定の長期借入金が47,459千円増加したことが主な要因であります。

固定負債は、前事業年度末に比べて303,885千円増加し、1,732,117千円となりました。社債が

146,000千円増加、長期借入金が170,288千円増加したことが主な要因であります。

この結果、負債は、前事業年度末に比べて357,149千円増加し、2,675,722千円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて14,256千円減少し、1,168,160千円となりました。四半期純利益を計上したものの配当金の支払いにより利益剰余金が14,906千円減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年4月12日に公表しました「平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	707,272	873,738
売掛金	26,374	34,854
商品	752,971	865,440
貯蔵品	3,218	4,029
その他	125,066	122,199
貸倒引当金	△455	△550
流動資産合計	1,614,449	1,899,712
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	926,319	897,596
その他(純額)	309,505	386,934
有形固定資産合計	1,235,824	1,284,530
無形固定資産	29,784	27,589
投資その他の資産		
差入保証金	404,241	414,243
その他	215,086	214,812
貸倒引当金	△4,177	△4,273
投資その他の資産合計	615,150	624,782
固定資産合計	1,880,760	1,936,903
繰延資産	5,780	7,266
資産合計	3,500,989	3,843,882
負債の部		
流動負債		
買掛金	72,028	83,312
1年内返済予定の長期借入金	283,034	330,493
1年内償還予定の社債	183,500	183,500
未払法人税等	79,958	48,170
資産除去債務	4,348	4,348
その他	267,472	293,781
流動負債合計	890,342	943,605
固定負債		
社債	241,000	387,000
長期借入金	623,590	793,878
役員退職慰労引当金	21,958	25,252
資産除去債務	336,310	337,661
その他	205,372	188,325
固定負債合計	1,428,231	1,732,117
負債合計	2,318,573	2,675,722

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	570,210	555,304
自己株式	△111	△198
株主資本合計	1,181,114	1,166,120
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,301	2,039
評価・換算差額等合計	1,301	2,039
純資産合計	1,182,416	1,168,160
負債純資産合計	3,500,989	3,843,882

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)
売上高	1,830,179
売上原価	627,996
売上総利益	1,202,182
販売費及び一般管理費	1,099,292
営業利益	102,890
営業外収益	
受取利息	73
受取配当金	41
不動産賃貸料	8,340
その他	6,127
営業外収益合計	14,582
営業外費用	
支払利息	7,253
社債利息	1,377
不動産賃貸原価	9,562
その他	1,074
営業外費用合計	19,266
経常利益	98,205
特別損失	
固定資産除却損	50
減損損失	2,506
特別損失合計	2,557
税引前四半期純利益	95,648
法人税、住民税及び事業税	43,560
法人税等調整額	247
法人税等合計	43,807
四半期純利益	51,840

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第1四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	リユース事業	フードサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,263,382	566,797	1,830,179	—	1,830,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,263,382	566,797	1,830,179	—	1,830,179
セグメント利益	134,770	33,786	168,557	△65,666	102,890

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。